

ため池周辺の麦作圃場におけるヒドリガモの採食時間と被害圃場の立地条件

藤井寿江*・松本英治**・白井英治*・青木英子***

香川県農業試験場研究報告 第71号(2020年3月) 47-55

1. センサーカメラをため池に隣接する麦作圃場に設置し、昼夜を通して自動撮影を行った。ムギの加害種はヒドリガモであり、日中に採食した。薄明、薄暮に当たる時間や夜間の採食は認められず、離れた水系から飛来して加害する場合と採食時間が異なった。
2. ため池から150mの範囲内にある麦作圃場を調査した結果、カモ類に加害される圃場は、ため池近くや堤防高が低い方向に集中した。カモ類による被害は、ヒドリガモが生息するため池からの距離が10m未満で、かつ、堤防高が0.5m以下の方向に位置する圃場が多く、ため池に近接していても高い堤防を越える必要のある圃場、堤防が低くてもため池から離れた圃場が被害を受けることは少なかった。また、ため池と麦作圃場の間に建造物や雑木林などの障害物がある場合は、被害を認めなかった。

キーワード：ため池，麦作圃場，ヒドリガモ，被害